

サーキット・ライダー 2004年7、8月号

心理学でも教育相談でもなく

イスラエルの王、ダビデの子、ソロモンの箴言。これは知恵を諭しわきまえ、分別ある言葉を理解するため、諭しを受け入れて、正義と裁きと公平に目覚めるため。未熟なものに熟慮を教え、若者に知識と慎重さを与えるため。これに聞き従えば、賢人もなお説得力を加え、聡明な人も指導力を増すであろう。また格言、寓話、賢人らの言葉と謎を理解するため。主を畏れることは知恵の始め。無知な者は知恵をも諭しをも侮る。わが子よ、父の諭しに聞き従え。母の教えをおろそかにするな。それらは頭に戴く優雅な冠、首にかける飾りとなる。

箴言 1：1－9。

最近の日本は犯罪の低年齢化が著しく、ここ数ヶ月間、小学生や中学生による痛ましい殺傷事件が続けて起こり日本中が驚きと共に、憂えています。アメリカでも毎年、悲惨な少年犯罪が起こり報道されています。高校生が銃を学校に持ち込んで乱射したり、小学生が親の銃で遊び、自分の兄弟を射殺してしまうというような事件が起こり人々を驚愕させています。ニュースを見ていると、このような事件が起こると必ず、犯罪の専門家、心理学者、教育者などの人達が出てきて、事件、子供の精神状態、育った背景、家庭環境諸々を分析します。事件の背景、子供の心理を知ることが大切です。また当事者の子供や親、被害者の家族がカウンセリングを受け心の傷を癒す事も大切です。しかし、時にそれらは問題が出たからそれに対処するという受身的対応法に偏りすぎて、問題を起こす根本的原因の撲滅、環境、生きる姿勢の抜本的見直しになっていないように思えます。喩えて言うなら、空気も水も汚染された所にすんでいる人が、発病し更にその為、心も鬱になってしまったが、それに対し、医者や臨床心理士がその人の病状のみを治療するようなものです。いくらその人の体を治療しても、その原因である環境そのものを変えなければ、その人はそこに住みつづける限り、何度も発病し悪化していく。また鬱状態に陥る。

子供達が即物的な生き方に何も疑問を感じず、将来にさしたる夢ももてず、命の貴さを知らないとしたらそれは、彼らの心理や精神が歪んでいるのではなく、彼らを育てる大人、社会に問題があると考える必要もあるのではないのでしょうか。勿論、人が発病する場合いつも上述の喩えのようなケースとは限りません。しかし青少年犯罪が増え続けているとしたら、実際、政府の発表によればここ1970年以降、とりわけここ10数年、犯罪の低年齢化が進み、激増している事実を見るにつけ、これはもう特定の子供の精神的問題、家庭の事情ではすまされない、済ましてはいけないと考えるべきではないのでしょうか。

私はずっと青少年の教育、キャンプ伝道などに関わってきましたが、一貫して物質主義の繁栄、幸福感に疑問を投げかけてきました。今もそのことを念頭において教育学を学んでいます。いったい世の多くの人はいつになったら幸せは物やお金ではない、それらのもので買えないということに気が付くのか。誤解のないように一言。お金や物の豊かさは大事です。貧乏に喘ぎ、その日の糧にも困る生活では、身体の健康も損なわれますし、心の豊かさも失い、他者を思いやる事など、恐らくできなくなると思います。元々それらを持っている人が、修行の為、信仰の為、それらを敢えて放棄し、心、霊の安らぎを求めるのと、社会構造の中で差別され、底辺で貧困に苦しんでいるのとは違います。それら強制的に貧しくされている人達に向かって「幸せはお金や物ではない」と言うのは資本家や抑圧者の欺瞞であり偽善です。全ての人がその日の食べ物に困るとののない豊かな生活を得るべきです。日本やアメリカはその点では、貧富の差は依然ありますが、中央アフリカ国々、アジアの一部、北朝鮮の子供達のように栄養失調で寿命を縮めているということはほとんどありません。その意味では富める国であり豊かな国です。

その富める国日本、アメリカの多くの子供達が心が荒み、何が正しいか、正しくないのか解らないままで、他者と接し、気に入らなければ、自分に少しでも都合が悪ければ亡き者になってしまうようになってきている。自己中心ここに窮まれりと言った観があります。私たちは新しい物にばかり目を向けず、もっと古の知者、賢者の言葉に耳をかさねばならないのではないかと私は思います。箴言はイスラエルの歴史の中で最高の知恵者とされたソロモンが為政者として、信仰者として歳月を重ね研磨された人生論、訓戒集です。(中には古い差別的な発言もありますが、そこは3000年前の男性中心社会の人のこととご理解ください。)栄耀華を極めたソロモンが辿り着いた心理とは「主を畏れることは知恵の初め。」でした。箴言は今でも多くのことを私たちに教えてくれています。

吉松 純

***礼拝は午後4時からです。Jr.教会（教会学校）は7、8月は夏休みです。**

***聖日予定：**

7月 4日：自由祈祷会、礼拝、聖餐式

11日：自由祈祷会、礼拝、司会：荒美俊三兄

19日：自由祈祷会、礼拝

26日：自由祈祷会、礼拝、司会：荒美和子姉

8月 1日：自由祈祷会、礼拝、聖餐式

8日：自由祈祷会、礼拝、司会：荒美俊三兄

15日：自由祈祷会、礼拝

22日：自由祈祷会、礼拝、ゲスト：村上清子牧師

29日：自由祈祷会、礼拝、ゲスト：浅田容子牧師、司会：荒美和子姉

9月 5日：自由祈祷会、礼拝、聖餐式

***集会、行事予定と報告**

7、8月は通常の集会、行事は夏休みとなります

7月 2日（金）午後7時より、ゴスペル・フォーク歌手、山口博子姉をお迎えし讃美と証の集いが荒美兄姉宅にて持たれます。持ち寄りで夕食を頂きますので皆様一品お持ち下さい。

***お知らせ。**

*礼拝堂を祈りたい方の為に午後3時30分より開放しています。どうぞご利用ください。

***御協力お願い致します。**

*ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

*使用済み切手を集めています。ご協力下さい。消印のついた切手の周り1センチくらいの余白を残して切とって下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（J O C S）に送ります。J O C Sは切手を換金し得られた収益金で海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

*H O P E（The Heart of Pediatric Electrophysiology）というボランティア団体にもご協力下さい。

Electrophysiology という特有の心臓病を患う子供を救う為、寄付金を募り患者や家族に送ったり、病院などの情報交換をしています。募金を下さる方はあて先をH O P Eとしてください。

*昨年よりケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

連絡先：英語オフィス（201）391-5499 日本語及びファックス（201）505-0347

ホームページ：<http://umc-japan.org> 吉松牧師宅（201）391-2208 pastor@umc-japan.org

教会学校担当：松尾孝恵姉（201）802-1769 takae723@hotmail.com